

# 紋切り型とは？

もんき

がた



「もんきりがた」とは、紙を折りたたみ、型紙に合わせて切り抜き、「紋」をつくる遊びです。「紋」とは、むかしからそれぞれの家でできめられ、使われてきた家のしるしです。「もんきりがた」の遊びは、江戸時代には、当時の子どもの学び場であった、寺子屋の教科書にもものっていました。



作り方

じゅんびするものープリントアウトした型紙・おりがみ・はさみ

スティックのり

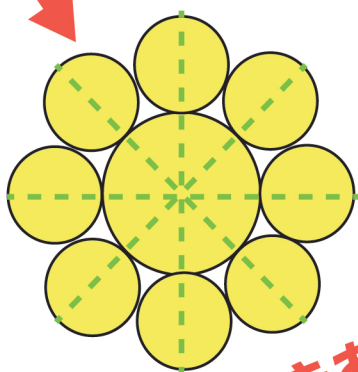
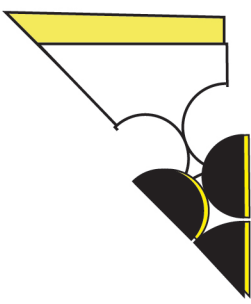
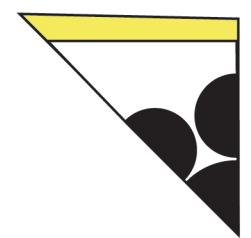
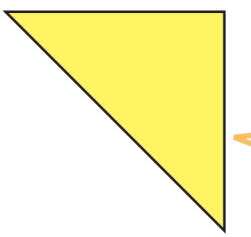
1 <sup>かたがみ</sup>はじめに型紙をプリントアウト！  
<sup>かたがみ</sup>型紙をえらんで <sup>そとがわ</sup>外側の線に <sup>せん</sup> <sup>さんかくけい</sup>そって三角形に切り取ります。

2 <sup>せいほうけい</sup>正方形のおりがみを三角形に  
おりがみ。 <sup>かいすう</sup> <sup>かたがみ</sup>おる回数は型紙によって  
ちがいます。型紙に  
かいてあるので見てね。

3 <sup>うえ</sup> <sup>かたがみ</sup>おりがみの上に型紙を  
はりつけます。  
\*あとではがすので、  
のりは少しだけうすく  
ぬります。

4 <sup>つか</sup>ハサミを使って、もようを  
ていねいに切り抜きます

5 ゆっくりていねいに  
ひろげながら・・・  
<sup>かたがみ</sup>型紙をていねい  
にはがします



できあがり！

できたもようを  
がようしなどの  
紙にはると  
きれいだよ。

かたがみ  
型紙

おりがみ

おりがみ